

全国骨髓バンク推進連絡協議会会長・運営委員

- | | | | |
|--------|------------|------|------------|
| 会長 | 海部 幸世 | 運営委員 | 新田 恭平(東京) |
| 副会長 | 大谷 貴子(愛知) | | 渡辺 孝一(神奈川) |
| 運営委員長 | 陽田 秀夫(福島) | | 伊藤 慎吾(神奈川) |
| 副運営委員長 | 島山 茂房(北海道) | | 大角 正巳(静岡) |
| | 野村 正満(東京) | | 小林 弘樹(新潟) |
| | 三好 逸二(関西) | | 高綱 忠司(愛知) |
| | 北村 猛(九州) | | 橋本 純次(関西) |
| 事務局 局長 | 三田村 真(東京) | | 山村 昭一郎(関西) |
| 事務局 次長 | 山本 順子(千葉) | | 向原 祥隆(九州) |
| (会計) | 木村 紀(千葉) | 監 事 | 田中 重勝(岐阜) |
| 運営委員 | 関根 政雄(福島) | | 三品 雅義(税理士) |
| | 小野喜代人(宮城) | 事務局員 | 村上美智子 |
| | 星野 成司(千葉) | | 遠藤 允 |
| | 鯨岡 繁(埼玉) | | 福崎 豊一 |
| | 笹原 慶一(埼玉) | | |

第七回通常総会
成功裡に終了

全国協議会
ニュース

発行所
全国骨髓バンク
推進連絡協議会
〒130 東京都新宿区
愛住町23-1
Woody21-9階
TEL.(03)3356-8217
FAX.(03)3356-8637
発行責任者
渡辺 孝一

〒郵便振替口座中
00150-4-15754
〒銀行口座中
さくら銀行 新宿支店
普通 5666655



あいさつする陽田委員長



全国骨髓バンク推進連絡協議会第7回通常総会

総会参加者で記念撮影

全国協議会第七回通常総会は、「ボランティア若小牧大会'96」の主会場となった若小牧市民会館で、六月一日に二十二団体の代表者が出席し、開催されました。あいさつに立った陽田委員長は、本年度の活動の重点について触れ、(1)ドナー登録の低率打開に知恵と工夫を (2)医療体制の充実に向けた取り組み強化 (3)国際ネットワークの実現 (4)患者さんの相談窓口の設置 (5)国や財団の一層の情報公開を求める取り組み、などを重視していきたいと述べました。

議事は、神奈川の渡辺前委員長を議長に選出して進められ、諸報告・提案とも活発な質疑のあと全て満場一致承認されました。

又、運営委員会の役割については、互選により別記の通り決定されました。

国際フォーラム
「骨髓バンクのネットワーク化」
～準備着々・通訳ボランティア募集～

白血病フリーダイヤル
7月13日より毎週土曜日の開設!

白血病に限らず、難治性の血液疾患を知らされた患者とその家族の苦悩は大きく、情報を求めて右往左往することを余儀なくされます。どこに何を聴いたらいいやら、途方に暮れています。

現在の医療行政の枠内では、残念ながら相談のつてくれる公の窓口はありません。

全国協議会ではかねてより相談窓口の設置を検討していましたが、このたび七月十三日より毎週土曜日に「電話相談」を実施することに致しました。

週に一日ではありますが、恒常的な開設は両面的なことであると思います。尚、電話はフリーダイヤルですので、遠隔地からも電話料金を心配することなく相談ののれるようにしています。

また、毎月第二土曜日は血液内科専門医も常駐し、医療面での相談にも応えられるようになっています。患者さんやその家族の悩み、情報提供などにこの「白血病フリーダイヤル」をご活用ください。



来たる八月十八日(日)に、東京国際展示場(写真)において国際フォーラム「骨髓バンクのネットワーク化」を開催しますが、全国協議会では実行委員会を組織し、準備を進めています。すでにアメリカ、台湾、韓国、の骨髓バンク担当者への出席依頼については参加の返事をいただいています。

このフォーラムはすべて四カ国語(英語、中国語、韓国語、日本語)の同時通訳によって進行します。現在、全国協議会では通訳をしてくださるボランティアスタッフを募集しております。応募とこの件に関するお問い合わせは全国協議会事務局へどうぞ。

心からのご寄付を
ありがとうございました

5月21日～6月20日まで

BMT神奈川	現金	50,000
岡本次郎	現金	2,000
クロサワファミオ	現金	10,000
日本プラスト㈱	切手	1,080
富士通エフ・アイ・シー労働組合	切手	2,310
渋谷中央ライオンズクラブ	現金	500,000
山崎久江	現金	5,000
田中孝博	現金	100,000
加藤須磨子	現金	30,000
阿原一良	現金	10,000
イシバシヒロキ	現金	3,710
Pab jin jin	現金	6,215

(敬称略)

活動資金の援助をお願いします

銀行口座
さくら銀行 新宿支店
普通 5666655
郵便振替口座
00150-4-15754
全国骨髓バンク推進連絡協議会

☆国際フォーラム
「骨髓バンクのネットワーク化」
●八月十八日(日) 午後一時半～四時半
●東京国際展示場・会議棟六階
●第一部「各国骨髓バンクの現状と国際協力の状況」
●第二部「国際ネットワークの方向性」
●パネリスト
●ブルース・カッセルトン(米国)
●林碧玉(台湾)
●全用植(韓国)
●幸道秀樹(都立府中病院)
●佐治博夫(京都血液センター)
●陽田秀夫(全国協議会運営委員長)

白血病フリーダイヤル
バンクに トウロク
☎0120-892-106
毎週土曜日10時～16時

骨髄バンクの最新情報をお知らせする——骨髄バンクNOW

★文部省を訪問
6月3日、初等中等教育局、生涯学習局を訪問し、平成8年度の普及広報のテーマの一つ「学生をターゲット」へのアプローチとして、アドバイスを受けました。

★7月初旬から新たな広告が登場(公共広告機構)
昨年度まで、テレビ、新聞等を通じて普及広報に大きく貢献してきましたが、平成8年度も広告テーマとして採用され、7月から登場することになりました。

★バンクニュースVol.8発行
ドナーを待ちつづける患者の周辺にスポットを当て、一致したドナーを見つけることのできない約30%の患者さんのために一日も早い10万人のドナー達成を訴えました。今回初めてコーディネーション関連のデータも掲載しました。

[検査済ドナー登録者]	72,583人]
[患者登録者]	4,078人]
[移植件数]	774件]

(5月末現在)

★骨髄バンクへのお問い合わせは★
フリーダイヤル0120-377-465

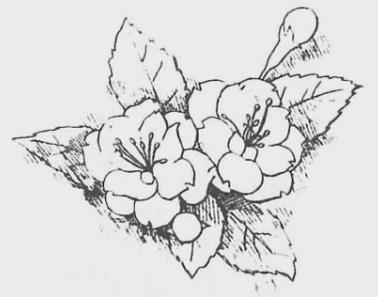
◆副会長・運営委員長の動き◆

大谷副会長の講演活動

5月20日	大分県	大分県青年会議所
22日	東京都	新都心ライオンズクラブ
24日	岐阜県大垣市	国際ソラブチミスト不破
31日	岐阜県海津郡	県立高等学校家庭クラブ連盟
6月3日	東京都練馬区	健康フォーラム21
11日	鳥取県鳥取市	中国電力㈱
14日	大阪府大阪市	オリエンタル建設㈱
15日	岐阜県海津郡	県立海津北高等学校
16日	大阪府大阪市	大阪南ローターアクトクラブ
23日	兵庫県相生市	相生青年会議所(まちづくり委員会)
	鳥根県出雲市	出雲青年会議所
24日	鳥取県米子市	自治労米子市職員労組 米子商工会議所

陽田運営委員長の動き

5月20日	厚生省へ要望書(ハガキ申込み未登録者への情報提供について・骨髄バンクドナー登録年齢の見直しについて)提出。野村・島山副運営委員長が同行。
6月29日	宮城骨髄バンク登録推進協議会 仙台支部発足式へ出席



情報誌「骨髄バンク」第2号発行

今年一月に創刊した情報誌「骨髄バンク」の第2号を六月二十五日付で発行しました。第2号も百ページをこえる内容で、最新医療情報を含め、様々な情報を満載しています。

今回も創刊号同様に、日本骨髄バンク関係者全員に無償配布(財団法人関係者には五百円)されますが、希望者には五百円にて販売も行ないます。なお、第2号の掲載内容は次の通りです。

情報誌「骨髄バンク」第2号

- 骨髄バンクの将来的展望……………高久史磨
- 骨髄提供者の手記……………深尾真美
- 「ドナーの会」設立へ……………田中重勝
- 患者の手記(絶筆)……………平田浩三
- 「ある地方行政官の骨髄バンク観」……………三土修平
- エッセイ……………山下泰裕
- ……………刀根麻理子
- 同種PBSCTの方向性……………原田実根
- 末梢血幹細胞の採取と保存……………関口定美
- HLAのDNAタイピング……………佐治博夫・赤座達也
- ドナーフォローアップの経験から……………秋山祐一
- NMDP認定病院の報告……………小寺良尚ほか
- 台湾と韓国の骨髄バンク詳報……………遠藤 允
- モノローグ……………東ちづる
- 私と骨髄バンク運動……………(三重)庄司 正
- ……………(九州)秋吉睦子
- ……………(新潟)金子和子
- マスコミと骨髄バンク報道……………室靖治(読売)
- ……………小暮裕美子(TBS)
- 地区普及広報委員から……………石原浩之
- ……………小川真理
- 未加盟団体から……………(再生つばさの会)柴田明代
- ……………(栃木・広める会)栗本孝雄
- メッセージ……………大谷貴子
- 骨髄バンクのシステムの問題点……………野村正満



ワッペン(バッジ)完成

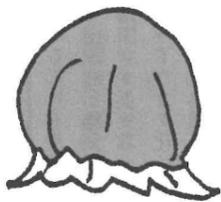
全国協議会ではこのほど、プラスチック製のバッジ(ワッペン)を作成し、各加盟団体に百個づつ配布しました。大きさは直径約十センチ、赤

と黄色のカラフルなもので、安全ピンがついています。今後のイベントなど、骨髄バンクの推進運動にご活用ください。



女性患者に プレゼント ナイト・キャップ

血液疾患と闘う女性患者にとっての必需品にナイト・キャップがあります。開病により脱毛するため、院内や家庭でも欠かせないものです。しかし、ナイト・キャップを購入しようとしても、あまり売っていないという現実を直面した患者さんも多くいらっしゃるでしょう。デザインなども揃っていないのです。今回、女性用下着メーカーのプランパピエ株式会社により、



ナイト・キャップをプレゼントしたいとの申し出がありました。三枚組(定価五千八百円)を十名の女性患者(成人のみ)ご本人にプレゼントします。応募は東京の会へはがきでどうぞ。(応募先)〒一六二東京都新宿区住吉町二の十八の七〇七 公的骨髄バンクを支援する東京の会・プレゼント係



記念式典は、6月1日苫小牧市民会館大ホールで盛大に開催されました。

全国骨髄バンクボランティア 苫小牧大会'96

地方で初めての開催となった「ボランティア苫小牧大会'96」は、大成功をおさめました。運営に当たられた苫小牧の皆さん、本当にご苦労さまでした。

スナッチ

会長に代わってあいさつを述べる
大谷副会長。

大会開催までの経過と歓迎のあいさつをする山口苫小牧会長。



来賓として北海道知事(代理)、苫小牧市長、日赤室蘭ターセンター所長(代理)が見えられました。写真は祝辞を述べられる鳥越苫小牧市長。



記念講演



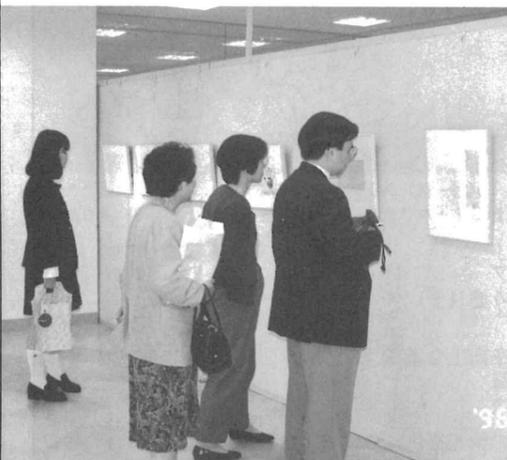
「命をみつめて書き続けたもの」と題した岸川さんの講演に、会場は静まりかえり、参加者に涙と感動を与えました。

親子映画会



六月二日に開催された親子映画会(五等)になりました。には、沢山の親子が駆けつけました。

あやちゃんの贈り物展



5月30日から6月5日までデパート「丸井今井」で開かれた「あやちゃんの贈り物展」には、沢山の参加者がありました。



三田村事務局次長の活動報告、次回開催地の新潟「育てる会」の金子副会長の招請あいさつにつづいて、コール・ソネット合唱団のみなさんによる合唱は、大変すばらしいものでした。

財団普及広報 委員推薦問題 これまでの経緯と問題点

●過去の推せん事実

平成八・九年度の財団普及広報委員に全国協議会が推薦した三人のボランティアについて、財団から「白紙に戻してほしい」との要請があったことは、本紙五月一日付第四十七号でお知らせしたとおりです。ここでは、その後の経緯と問題点を検証します。

普及広報委員会は財団の常設の委員会の一つで、財団が所管する各種業務のうち、普及啓発や広報に関する事項を審議するための機関です。委員には、これまで主に医師や広告関係者、ボランティアなどが専任されてきましたが、そのバランスは半数近くが医師という実態でした。全国各地で実際に骨髄バンクの普及啓発活動を行っているボランティアからの選任は、財団からの要請に基づき全国協議会が推薦するという形で推移してきており、財団発足直後の第一期第二期とも全員推薦どおりに選任されてきたものです。第一期は秋山(埼玉)、大谷(名古屋)、陽田(福島)の三氏、第二期は大谷氏が別格の推薦外で選任されたため、北村(神奈川)、高橋(神奈川)、田中(埼玉)の三氏でした。

●今回の推せん要請
さて、第二期の委員の任期が平成八年三月までとなっているため、今年一月に開かれた全国協議会と財団の意見交換会の席でこの件も話題になりました。ちなみに、この日の出席者は、全国協議会側が正副運営委員長と事務局長、財団側は副理事長(企画管理委員長兼任)と普及広報委員長、事務局長等でした。席上、「次期の普及広報委員については、従来どおりボランティアから三名推薦するというところでよろしいでしょうか」というこちらの質問に対し、財団は「従来どおり三名お願いしたい。特に今年からは全国協議会を代表する立場で活動できる人を推

薦していただきたい。また、文章を書ける人も入れてほしい」との条件を提示してきました。

●ボランティア代表

ここで、「全国協議会を代表する立場の人」というのには若干の説明が必要です。従来、全国協議会が推薦した委員には、会の代表(いわゆる利益代表)ではなく、あくまで個人の立場で活動していただいていたおり、特に運営委員会等で報告を求めるとはしていませんでした。

財団側では「全国協議会から推薦されてきた委員のだから、当然、普及広報委員会で議論の経過や決定事項は彼等によって全国協議会に伝えられているものと考えていた」ので双方の認識にずれが生じましたというのです。このことが、昨年度地区普及広報委員制度を創設・公募する際、事前に全国協議会に相談しなかったことによる混乱につながったというのが財団側の言い分です。しかし、これは事実と異なっており、第一期の委員在任当時の普及広報委員の席上、当時の厚生省担当官から「ボランティア団体の推薦委員であっても、その団体の代表としてではなく、あくまで財団の委員としての立場で行動を」という要請があり、その席には、現普及広報委員長等も出席していました。

全国協議会としては、このことは財団側の方針転換と判断したうえでこの条件を受け入れ、新年度の推薦委員について二月の運営委員会で協議を行い、財団の条件を満たす三名をそれぞれの推薦理由を付けて推薦しました。(資料1)

●推せん「白紙」の理由

これに対し財団は、五月の全国協議会ニュースで既報のとおり「三名の推薦を白紙に戻してほしい」と申し入れてきたのでした。(資料2)

その理由として、
(1)次期委員は、次年度活動計画の検討を行った結果をもとに、事務局長が普及広報委員長、企画管理委員長と協議をした結果、普及広報委員は、①プロジェクト別に②必要な人に③その都度委嘱するのが適当という意向である。
(2)普及広報委員会の委員構成は最終的には企画管理委員会の承認事項である。
(3)公的バンクの業務開始から四年経過し、ドナー登録

資料2

平成8年4月3日
全国骨髄バンク推進連絡協議会
会長 海部 幸世 殿
財団法人骨髄移植推進財団
事務局長 野田 尚子
普及広報委員会の推薦について
平素より、骨髄バンク事業の発展のために、ひとかたならぬ協力を賜っておりますこと心から厚く御礼申し上げます。
さて、貴協議会から3月6日付をもって、次期普及広報委員として3名の方々の推薦をいただきました。次期普及広報委員の構成につきましては、次年度活動計画の検討をもとに普及広報委員長及び企画管理委員長との協議の結果、普及広報委員はプロジェクト別に必要な方々にその都度委嘱申し上げるのが適当ではないかと意向です。
普及広報委員会の委員構成は、最終的には企画管理委員会の承認事項となっております。骨髄バンク事業開始から4年が経過しており、またドナー登録数が停滞傾向にあることにつきましては、これまでの普及啓発活動の評価と見直し、新たな対応が必要と認識しております。つきましては、以上の状況によりまして、まことに恐縮ではありますが貴協議会からの3名の方々の推薦につきましては、一度、白紙に戻していただきますようお願い申し上げます。
なお、今後の普及啓発活動につきましては、従前どおり必要に応じてご協議させていただきますのでよろしくお願い申し上げます。

資料3

平成8年5月23日
財団法人 骨髄移植推進財団
理事長 中 藤 謙 様
全国骨髄バンク推進連絡協議会
普及広報委員長 陽田 秀夫 様
普及広報委員会の推薦について(照会)
時日 白紙にお戻りして下さるご意思のご連絡をいただき、誠にありがとうございます。また、貴協議会からの推薦につきまして、普及広報委員会の推薦につきましては、正式な報告・協議はしていません。先般の文書で述べましたとおり、貴協議会が推薦された方々については、今後の普及啓発活動のあり方及び普及啓発活動の方針等につきまして、なお不明な点がありますこと、お申し出の御座りなご質問等については、ご質問の旨にお答えいたします。下記のとおり回答いたします。
1 貴協議会から3名の普及広報委員の推薦を受け、結果的に白紙に戻していただいた経緯につきましては、普及広報委員長及び企画管理委員長では、正式な報告・協議はしていません。先般の文書で述べましたとおり、貴協議会が推薦された方々については、今後の普及啓発活動のあり方及び普及啓発活動の方針等につきまして、なお不明な点がありますこと、お申し出の御座りなご質問等については、ご質問の旨にお答えいたします。下記のとおり回答いたします。
2 プロジェクト別の委嘱とありますが、普及広報委員では役割分担としてのニュアンスであり、4月23日及び5月22日開催の普及広報委員会で報告・了承されたものです。各委員委員のテーマ別には、企画管理委員会の承認と、理事長が適切と判断した方を委嘱しております。平成8年度の各委員委員の選任については、各委員長の推薦に基づき5月1日開催の企画管理委員会で了承され、委嘱手続きを行ったものであります。
3 上記2で述べたとおり、普及広報委員の分担を決めたことでの普及広報委員としての機能は従前と変わらなく、普及啓発に関する全般的協議機関です。
4 普及啓発の活動テーマごとに、ふさわしいと思われる方々を委員をお願いしたものであります。
5 別紙のとおりです。
6 従来と全く変わるところはありません。今後とも財団の普及啓発事業に協力し、骨髄バンク事業の発展に寄与したいと思います。

資料4

平成8年5月31日
全国骨髄バンク推進連絡協議会
運営委員長 陽田 秀夫 様
財団法人 骨髄移植推進財団
事務局長 野田 尚子
普及広報委員会の推薦について(回答)
本年5月23日付文書にて、貴方様よりご照会がありました件につきまして、下記のとおり回答いたします。
記
1 貴協議会から3名の普及広報委員の推薦を受け、結果的に白紙に戻していただいた経緯につきましては、普及広報委員長及び企画管理委員長では、正式な報告・協議はしていません。先般の文書で述べましたとおり、貴協議会が推薦された方々については、今後の普及啓発活動のあり方及び普及啓発活動の方針等につきまして、なお不明な点がありますこと、お申し出の御座りなご質問等については、ご質問の旨にお答えいたします。下記のとおり回答いたします。
2 プロジェクト別の委嘱とありますが、普及広報委員では役割分担としてのニュアンスであり、4月23日及び5月22日開催の普及広報委員会で報告・了承されたものです。各委員委員のテーマ別には、企画管理委員会の承認と、理事長が適切と判断した方を委嘱しております。平成8年度の各委員委員の選任については、各委員長の推薦に基づき5月1日開催の企画管理委員会で了承され、委嘱手続きを行ったものであります。
3 上記2で述べたとおり、普及広報委員の分担を決めたことでの普及広報委員としての機能は従前と変わらなく、普及啓発に関する全般的協議機関です。
4 普及啓発の活動テーマごとに、ふさわしいと思われる方々を委員をお願いしたものであります。
5 別紙のとおりです。
6 従来と全く変わるところはありません。今後とも財団の普及啓発事業に協力し、骨髄バンク事業の発展に寄与したいと思います。

●「白紙」要請の疑問点

この問題は、直ちに四月の運営委員会で取り上げられ、財団の白紙撤回要請を受け入れるかどうかの議論をするには疑問点が多すぎる。つまり、上記三点の理由で何故白紙に戻すことになるのかかわらないという点に議論が集中したのです。以下、当日挙げられた疑問を列挙すると理由の(1)について

●次年度活動計画の検討を行ってどの様な結果に至ったのだろうか。
●プロジェクト別に必要の人にその都度委嘱する「な」という普及広報委員会のあり方に関わる重大な変更を、事務局長が普及広報委員長、企画管理委員長と協議しただけで決定できるのだろうか。企画管理委員会や普及広報委員会という合議機関に対する越権行為にはならないのだろうか。
●「プロジェクト別」とは一体どんなプロジェクトなんだらう。
●「必要な人」の基準や決定権はどうなっているのだろうか。

●照会に対する回答

照会に対する回答は、五月三十一日付で送られてきました。十一日付で送られてきました。なお、文中「白紙に戻していただいた」とありますが、全国協議会としては未だ白紙に戻す決定はしていません。

主な回答内容は、
(1)全国協議会から推薦があったことや、財団側から白紙撤回要請をした経緯については、普及広報委員会、企画管理委員会のどちらにも報告・協議はしていない。事務局長と委員長で協議して決定したものである。
(2)八年度の委員の選任は、五月一日の企画管理委員会で了承され、既に委嘱手続きを終えている。
(3)「プロジェクト別」というのは、役割分担としてのニュアンスである。これは四月二十三日と五月二十二日の普及広報委員会で報告・了承されたものである。こ

●各地で協議を

この回答については、六月十六日に別の案件で開催された緊急運営委員会で報告されましたが、時間切れのため対応に十分な協議がなされませんでした。
今後、皆さんの意見を集約したうえで協議会としての対応を決定したいと考えております。どうか、各地団体におかれましても十分な協議をお願いいたします。

この回答については、六月十六日に別の案件で開催された緊急運営委員会で報告されましたが、時間切れのため対応に十分な協議がなされませんでした。
今後、皆さんの意見を集約したうえで協議会としての対応を決定したいと考えております。どうか、各地団体におかれましても十分な協議をお願いいたします。

資料1

平成8年3月6日
全国骨髄バンク推進連絡協議会
会長 海部 幸世 殿
普及広報委員会の推薦について
時日 貴財団ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。目下より骨髄バンク事業の推進にご尽力下さり、心より感謝申し上げます。さて、ご依頼のありました平成八・九年度の普及広報委員について、2月18日の運営委員会において下記3名を推薦することに決定いたしましたのでご報告申し上げます。
高橋 秀一(神奈川骨髄移植推進財団)
理由 貴財団の継続性から現推薦委員の中から高橋秀一氏を推薦いたします。責任感が強く積極的に活動される方であると同時に、女性の立場からの立場から、有益な提言がなされるものと期待しております。
陽田 秀夫(福島骨髄移植推進財団)
理由 全国骨髄バンク推進連絡協議会委員として2年間のリーダーシップを発揮し、現在も同協議会の運営委員として、中心に活動されている経緯を有する。骨髄バンクの普及広報に建設的提言として生かせるものと思っております。さらに執筆を要してありますので、公報掲載等にその能力を十分発揮するものと期待しております。
田中 尚子(埼玉骨髄移植推進財団)
理由 全国骨髄バンク推進連絡協議会委員として2年間のリーダーシップを発揮し、現在も同協議会の運営委員として、中心に活動されている経緯を有する。骨髄バンクの普及広報に建設的提言として生かせるものと思っております。さらに執筆を要してありますので、公報掲載等にその能力を十分発揮するものと期待しております。

資料3

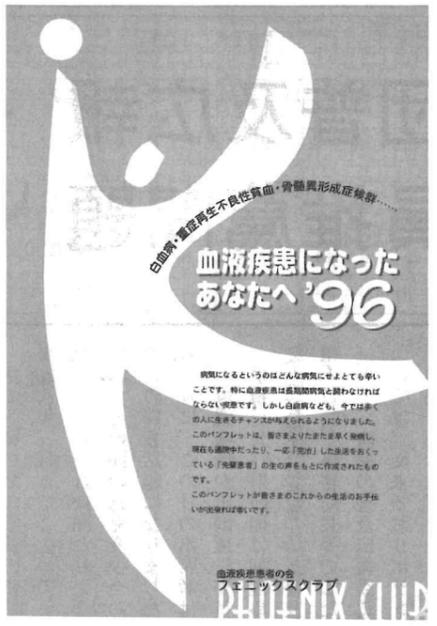
平成8年5月23日
財団法人 骨髄移植推進財団
理事長 中 藤 謙 様
全国骨髄バンク推進連絡協議会
普及広報委員長 陽田 秀夫 様
普及広報委員会の推薦について(照会)
時日 白紙にお戻りして下さるご意思のご連絡をいただき、誠にありがとうございます。また、貴協議会からの推薦につきまして、普及広報委員会の推薦につきましては、正式な報告・協議はしていません。先般の文書で述べましたとおり、貴協議会が推薦された方々については、今後の普及啓発活動のあり方及び普及啓発活動の方針等につきまして、なお不明な点がありますこと、お申し出の御座りなご質問等については、ご質問の旨にお答えいたします。下記のとおり回答いたします。
1 貴協議会から3名の普及広報委員の推薦を受け、結果的に白紙に戻していただいた経緯につきましては、普及広報委員長及び企画管理委員長では、正式な報告・協議はしていません。先般の文書で述べましたとおり、貴協議会が推薦された方々については、今後の普及啓発活動のあり方及び普及啓発活動の方針等につきまして、なお不明な点がありますこと、お申し出の御座りなご質問等については、ご質問の旨にお答えいたします。下記のとおり回答いたします。
2 プロジェクト別の委嘱とありますが、普及広報委員では役割分担としてのニュアンスであり、4月23日及び5月22日開催の普及広報委員会で報告・了承されたものです。各委員委員のテーマ別には、企画管理委員会の承認と、理事長が適切と判断した方を委嘱しております。平成8年度の各委員委員の選任については、各委員長の推薦に基づき5月1日開催の企画管理委員会で了承され、委嘱手続きを行ったものであります。
3 上記2で述べたとおり、普及広報委員の分担を決めたことでの普及広報委員としての機能は従前と変わらなく、普及啓発に関する全般的協議機関です。
4 普及啓発の活動テーマごとに、ふさわしいと思われる方々を委員をお願いしたものであります。
5 別紙のとおりです。
6 従来と全く変わるところはありません。今後とも財団の普及啓発事業に協力し、骨髄バンク事業の発展に寄与したいと思います。

資料4

平成8年5月31日
全国骨髄バンク推進連絡協議会
運営委員長 陽田 秀夫 様
財団法人 骨髄移植推進財団
事務局長 野田 尚子
普及広報委員会の推薦について(回答)
本年5月23日付文書にて、貴方様よりご照会がありました件につきまして、下記のとおり回答いたします。
記
1 貴協議会から3名の普及広報委員の推薦を受け、結果的に白紙に戻していただいた経緯につきましては、普及広報委員長及び企画管理委員長では、正式な報告・協議はしていません。先般の文書で述べましたとおり、貴協議会が推薦された方々については、今後の普及啓発活動のあり方及び普及啓発活動の方針等につきまして、なお不明な点がありますこと、お申し出の御座りなご質問等については、ご質問の旨にお答えいたします。下記のとおり回答いたします。
2 プロジェクト別の委嘱とありますが、普及広報委員では役割分担としてのニュアンスであり、4月23日及び5月22日開催の普及広報委員会で報告・了承されたものです。各委員委員のテーマ別には、企画管理委員会の承認と、理事長が適切と判断した方を委嘱しております。平成8年度の各委員委員の選任については、各委員長の推薦に基づき5月1日開催の企画管理委員会で了承され、委嘱手続きを行ったものであります。
3 上記2で述べたとおり、普及広報委員の分担を決めたことでの普及広報委員としての機能は従前と変わらなく、普及啓発に関する全般的協議機関です。
4 普及啓発の活動テーマごとに、ふさわしいと思われる方々を委員をお願いしたものであります。
5 別紙のとおりです。
6 従来と全く変わるところはありません。今後とも財団の普及啓発事業に協力し、骨髄バンク事業の発展に寄与したいと思います。

各地のたより

各地のたよりを写真添えてお寄せ下さい。



パンフ「血液疾患になったあなたへ'96」

患者の会「フェニックスクラブ」では、血液疾患とされた方に対して、お医者さんとのこと、治療費や生活のこと、闘病生活の紹介など、先輩患者の生の声をもとに、これからの生活のお手伝いができればとA4版七ページのパンフレットを作りました。

長崎 様々な催しで広報活動

長崎支部で、あやちゃんの贈り物 絵画展を開催しました。絵画展は、諫早文化会館のホールを使用したもので、明確な数字は出ませんが、両日とも生け花展覧会、技術講習会、吹奏楽演奏会等の催し物があり、入場者も多かったため、多くの人に受けました。勿論、事前の広報活動で知って絵画展だけを見に来た方も多かった。来年、創始五十周年を迎えます。



沖縄 ひろゆき君のお母さんとの茶話会

五月十二日(日)の母の日に、「ひろゆき君のお母さんとの茶話会」(アルテプラン主催)が開かれました。

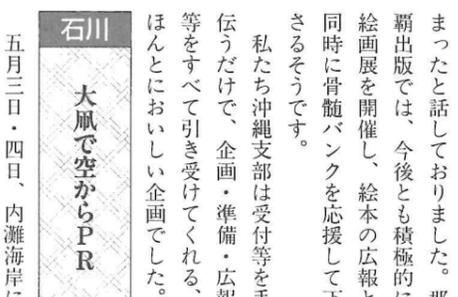
茶話会の会場となったアルテホールでは、これまでコンサート・映画会・絵画展等を催してきましたが、那覇出版社から持ちかけられた今回の企画を一年記念として取り組んでいました。地元新聞の報道もあり、当



石川 大嵐で空からPR

五月三日・四日、内海海岸にて世界風の祭典が開催され、二年ぶり二度目の参加を果たしました。

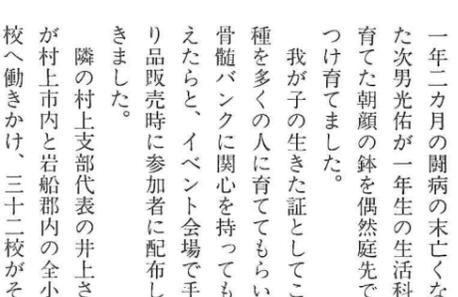
前回は、木曳野小学校教育友会の協力もあり、ドカベンや六畳風を上げて、見事優勝し、かなりのPRになったようです。六畳風と言え、引っぱるのに大人が十人がかりで上げなくてはならないのですから、地



新潟 ころすけのあさがお通信

今から三年前、白血病を患い一年二カ月の闘病の末亡くなった次男光佑が一年生の生活科で育てた朝顔の鉢を偶然庭先で見つけ育てました。

我が子の生きた証としてこの種を多くの人に育ててもらい、骨髄バンクに関心をもち、えたらと、イベント会場で手作り品販売時に参加者に配布してきました。



生徒が、自分にも何か出来る事をと生徒会へ働きかけチラシやチャンス配り等の骨髄バンクPR活動へと波及してきています。(丹後)

菅 直人厚生大臣は平成八年六月八日、高知市で開催された「さきがけ高知発足一周年記念の会」に出席して所信を述べ、高知県骨髄バンク推進協議会

劇映画「金色のクジラ」
撮影終了
運営委員(山本さん)特別出演

岸川悦子さん原作の映画「金色のクジラ」が六月末に撮影を終えた。八月十九日には完成試

限りある時間を懸命に生きぬいた青年の姿を克明に綴るドキュメント

大介・二十二歳の軌跡

「がん」と闘った青春

戸澤富雄著 四六判・上製 定価一七〇〇円

〒102 千代田区富士見1-5-12 TEL03-3221-9008 FAX3221-1038

フジテレビを見れば

やまもじの

フジテレビ

写会が行われ、秋には全国の自主上映会が本格化する。全国協議会事務局次長の山本順子さん(千葉)も特別出演した。

山本さんが登場するのは、骨髄移植を受けた主人公・裕一が主治医と元患者に励まされるシーンで、六月二十三日に浜松の病院で収録された。元患者役に

は、現にドナーを探しているクラリネット奏者の吉田光志朗さん(桐朋学園大二年生)が務めている。主治医役の田中健さんは翌二十四日、静岡県立こども病院を訪れて移植前後の子どもたちを励ました。スケジュールさえ合えば、この映画の関係で呼ばれば行きますよ」と話しており、骨髄バンク運動の新たな「助っ人」になってくれるかなと期待だ。

映画の製作・上映に当たっては全国に「作る会」が発足しており、各地のボランティア団体も参加しているが、完成後のチャリティー試写会の益金は、全国協議会運営の「佐藤まち子患者支援基金」に寄付される。また、学校での上映も数多く予定されているなど、教育現場への骨髄バンクの浸透が大いに期待されている。(遠藤 允)



撮影の合間に。左から山本次長、青島愛海くん(裕一役)、田中健さん(医師役)と吉田光志朗さん(クラリネット奏者)